

策に乗り出すよう県や市町村に
対して、「公共施設等総合管理
計画」の策定を要請している
ころとなっておりま。

この計画は、「地方公共団
体が、厳しい財政状況や人口減少
等の状況を踏まえ、公共施設等
の全体の状況を把握し、長期的
な視点をもつて、更新・統廃合・
長寿命化などを計画的に行うこ
とにより、財政負担の軽減・平
準化や公共施設等の最適な配置
を目指すこと」を目的に定める
もので、国は平成28年度まで
策定するよう求めています。

従いまして、町といったまし
ては、計画策定にあたっては、
専門家の意見を取り入れながら、
策定していくとともに、この計
画を策定する上で国の指針の
中で、「留意事項の一つとして「議
会や住民との情報共有等」とい
うことで、議会や住民への十分
な情報提供等を行います。議
員のご提案されるような「施設
評価協議会」的な機関を設置す
るのか、あるいはパブリックコ
メントなどを利用して情報を積
極的に開示し、幅広い議論を進
めるのか、色々な手法があるか
と思われまので、今後研究・
検討してまいりたいと考えてお
ります。

Q3 協働のまちづくり施策について

住民参画のまちづくり

問 平成17年度に補助金の
幅な見直しが実施された。

平成20年度に開始された協働の
まちづくり補助金と、平成24年
度に開始されたまちづくり協
会について、行財政改革の流れ
や、今後の八百津町を考えて、
賛成の立場から、住民参画のま
ちづくりをさらに推進するため
には、この制度の再構築が必要
と考えるが、執行部の考えを伺
う。

答 (田口産業課長)

八百津町では、町民と行政
のパートナーシップにより魅力
あるまちづくりを推進するため、
平成20年度から地域の活性化に
向けた町民の自主的な活動に対
し、町民協働によるまちづくり
事業補助金を交付してまいりま
した。これは、5人以上の構
成員を有する町民活動団体の
事業に対し、補助対象経費の
3分の2を助成するものであ
ります。但し、補助限度額は
年間20万円で、3年間が限度
です。これまでの実績は、平
成26年度までの7年間に、13
団体に対し、438万7千円を助
成しております。

次に、赤塚町長が公約に掲げ
た住民参画のまちづくり協議会
への支援事業は、平成24年度に
支援事務局を立ち上げ、まちづ
くり協議会設立の手助けをおこ

なっておりま。結果、4
地区で5団体が設立され活動さ
れております。

このまちづくり協議会の設立
及び計画策定に対しては、一団
体に5万円の補助金を交付して
おりますが、まちづくり協議会
が実施する事業に対する補助制
度が無く、設立された、まちづ
くり協議会からも事業に対する
助成を望む声があり、平成26年
度において補助要綱を見直し、
事業費にも助成する制度に改め
ました。補助金については、協
働のまちづくり事業補助金との
兼ね合いもあり、限度額を年間
25万円とし、期間も最長5年間
の継続を認めるものとしたしま
した。

しかし、まちづくり協議会に
ついては、自治会単位を超え、小
学校区単位程度の規模で設立さ
れることを予定しておりました
が、実際には、規模の小さなグ
ループの設立が目立ち、活動内
容も、協働のまちづくり事業で
も対応可能なものが見られます。
そこで今後は、協働のまちづ
くり事業補助金とまちづくり協
議会事業費補助金を一体化して、
新たな制度を構築したいと考
えております。

さらに、現在6地区に交付し
ております地域活性化推進事業
補助金、いわゆる夢おこし事業
補助金についても再検討をする
時期に来ておると感じておりま

す。まちづくり事業補助金と併
せて見直ししたいと考えており
ます。

具体的な見直しの内容につ
いては未定ですが、地域の皆様や
議会の皆様のご意見を伺いなが
ら、より良い制度にしたいと考
えておりますので、ご協力をお
願ひいたします。

なお、ただいま平成27年度予
算の編成中ですが、少子化対策
の一環として、空き家の改修事
業に補助金を交付する計画をし
ております。これは、空き家を
改修することにより町外からの
移住者を増やそうとするもので
あります。この事業の補助対象
者として、まちづくり協議会も
指定する予定であり、各地区に
おいて新規にまちづくり協議会
が立ち上げられ、少子化対策事
業に取り組んでもらえることを
願っております。

河村憲良議員

Q1 映画「杉原千畝」に関して

八百津町をアピールしては？

問 10月30日に唐沢寿明氏主
演の映画「杉原千畝」のメ
ディア情報が解禁され、11月上
旬にはポータルでの撮影がク
ランクアップしたとのこと。

本、八百津町においては、来
年は町制60周年を迎える記念す

べき年であり、映画化は、八百
津町をアピールできる絶好の機
会ではないだろうか。

例えば、試写会を八百津町で
開催していただき、そこに唐沢
氏を招へいするなど、町をアピ
ールできるアイデアはあるうか
と思う。

また、観光協会の活性化のた
めにも何らかの取り組みは必要
かと思うが、その企画をお持ち
なのか伺う。

答 (田口産業課長)

来年は、町制60周年にあた
り、このタイミングで杉原千畝
氏に関する映画が公開されるこ
とは、当町においても喜ばしい
ことであり、是非とも観光誘
致や記念館のPRに役立てたい
と考えております。

一般の町観光協会の席上にお
いても、会員の皆様に情報提供
をして、観光協会として何か出
来ないか知恵を絞って欲しいと
お願いしたところでもあります。

産業課といたしましても、来
年度の予算編成に先立ち、イベ
ント会社や東海テレビ、映画の
配給元である東宝映画に対しま
して、映画の公開に併せて、唐
沢寿明氏を招いて杉原記念館を
訪れてもらうような番組が出来
ないかとか、何かイベントを行
えないかと打診中ですし、記念
館のリニューアルと映画公開を
ネタにして、記念館でのイベン
トも検討中であります。